

《移行作業について》

いつもお名前.com レンタルサーバーをご利用いただき、誠にありがとうございます。

このたび、長らくご愛顧頂きました「VPS (VZ)」プランにつきまして、セキュリティ対策の一環として、よりセキュリティが強固な新サービスへ移行させていただく運びとなりましたのでご案内致します。

移行先の新サーバー環境は最新のソフトウェア環境になりますので、引き続き安心してご利用いただけます。

■新環境（移行先サービス）■

お名前.com VPS (KVM) cPanel プラン

なお、以下に新サーバー環境へ移行致しておりますデータの内訳を記載させていただいておりますので、お客様にてご確認のうえ、新サーバー環境への移行作業をお手続きいただきますよう、お願いいたします。

【移行データについて】

■ホームページについて

- 静的なホームページにて運用されているお客様の場合

「WordPress」などをご利用されず、「.html」形式のホームページのみご利用中のお客様の場合、弊社にてホームページデータの移行作業を行っております。

- 動的なホームページ (WordPress など) をご利用されているお客様の場合

「WordPress」などの CMS をご利用されているお客様の場合、誠に申し訳ございませんが、弊社にてホームページデータの移行作業は行わせていただいております。

■メールアカウント、メールデータについて

メールアカウントに関しましては、弊社にて新サーバー環境側にて同一のメールアカウントを作成させていただいております。

ただし、メールデータの移行は行っておりませんので、ご注意ください。

■データベース (MySQL/PostgreSQL)

データベースに関しましては、旧サーバー環境側で設定されておりましたデータベースの「管理者パスワード」情報がわかりかねますため、弊社にてデータベースのデータも**移行を行っておりませんので、ご注意ください。**

目次

1. 注意事項について
2. 移行先（新サーバー環境）の確認方法について
 - ・ サーバースペックの確認方法
 - ・ 移行先サーバーの IP アドレスの確認方法
3. 新コントロールパネル（cPanel）について
 - ・ cPanel について
 - ・ cPanel へのログイン方法について
4. 移行したホームページデータの確認について
 - ・ ファイルマネージャーを使用した確認方法
 - ・ FTP アカунトの確認方法
 - ・ FFFTP での接続方法
 - ・ DNS 変更前にホームページデータを確認する方法
5. 移行したメールアカウントの確認について
 - ・ cPanel 上での確認方法
 - ・ メールアカウントのパスワード変更について
 - ・ メールソフト側での設定変更について
6. データベース（MySQL）について
 - ・ 新サーバー環境でのデータベースの作成方法
7. WordPress の移行方法について
 - ・ 現 WordPress を現バージョンのまま移行する方法
8. WordPress のバージョンアップ方法について
 - ・ 移行した WordPress を最新版にバージョンアップする方法
9. DNS の切り替えについて

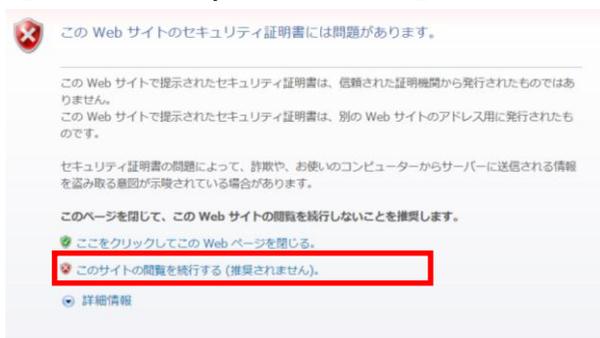
1. 注意事項について

■ ブラウザ上に表示される警告メッセージについて

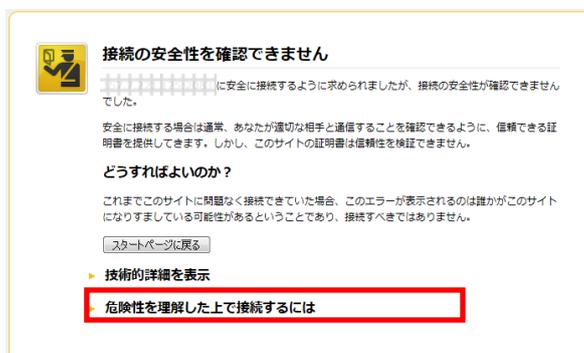
この度、弊社にてご用意させていただきました新環境のコントロールパネル等にアクセスしていただく際、ブラウザの設定によっては以下のような画面が表示されます。

こちらに関しましては、コントロールパネル上での操作内容を「暗号化」する為、「SSL 通信」が行われますが、第三者機関により認証された「SSL 証明書」では無く、「自己証明書」というものを使用して「暗号化」を行うため、警告のメッセージが表示されますが、「暗号化」自体は行われておりますので、ご安心ください。

【Internet Explorer の場合】



【Firefox の場合】



【GoogleChrome の場合】



2. 移行先（新サーバー環境）の確認方法について

■ サーバースペックについて

弊社にてご用意させていただきました移行先（新サーバー環境）のスペックは以下の内容にてご用意させていただいております。

【設置場所】 日本国内

【ディスク容量】 200GB

【メモリ】 2GB

【CPU】 2 コア

【OS】 CentOS 6.6

【root 権限】 ご利用いただけます

【サーバー管理ツール】 cPanel + WHM

【IP アドレス】 以下に記載の手順にてご確認ください

■ 移行先（新サーバー環境）の IP アドレス確認方法

① 以下 URL にアクセスいただき、弊社「サーバーNavi」にログインしてください。

【URL】 <https://my.rentalserver.jp/login.aspx>

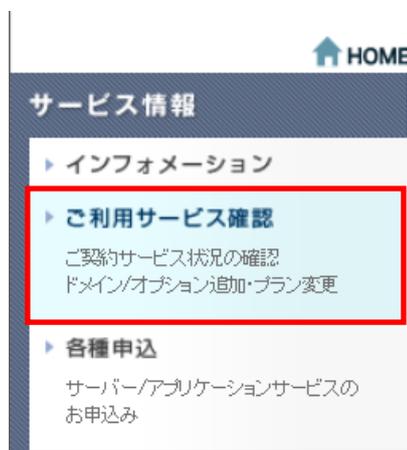
The screenshot shows a login form with the following elements:

- Header: ログイン (Login)
- Text: お持ちの会員IDとパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックしてください。
- Form fields: 会員ID (Member ID) and パスワード (Password)
- Text: 会員IDをお忘れの方は[こちら](#)、パスワードをお忘れの方は[こちら](#)で確認ください。
- Button: ログイン (Login)



このサイトはグローバルサインにより認証されています。SSL対応ページからの情報送信は暗号化により保護されています。SSLについて詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。

② ログイン後、画面左側より「ご利用サービス確認」をクリックしてください。



③ 「VPS (KVM)」の項目に表示された「コントロールパネル」をクリックしてください。

プラン	IPアドレス	状態	コントロールパネル
VPS (KVM) cPanelプラン	[IPアドレス]	稼働中	VPS [IPアドレス] [ログインする]

コントロールパネル詳細 コントロールパネル詳細画面でコントロールパネルの統合・分離ができます

表示件数: 10

← 最初のページ ← 前のページ 1/1 次のページ → 最後のページ →

④ 以下画面が表示されましたら、画面左側より「サーバーリスト」をクリックしてください。

Top

- サーバーリスト
- SSH Key Pair
- 操作履歴
- パスワード変更

お知らせ

Date	Title
2015/06/05 17:53	QEMUの脆弱性 CVE-2015-3456(VENOM)に関するお知らせ(6/5更新)
2015/05/14 14:22	QEMUの脆弱性 CVE-2015-3456(VENOM)に関するお知らせ
2015/03/19 16:21	一部DNSサーバーの提供終了のお知らせ
2014/11/10 13:45	インストールイメージに「CentOS 5.11、CentOS 6.6、Ubuntu 14.10、Scientific Linux 7」を追加しました
2014/10/16 21:13	SSL 3.0の脆弱性(CVE-2014-3566)に関するご注意
2014/09/25 18:42	bashの脆弱性(CVE-2014-6271、CVE-2014-7169)に関するご注意
2014/04/10 15:49	「WordPressテンプレート」を使用のお客様へお知らせ
2014/03/18 23:25	セキュリティ対策に伴うネットワーク設定の一部変更について
2014/01/28 23:42	ISOイメージファイル (FreeBSD10.0/CentOS5.10)を追加しました
2014/01/15 16:50	ntpdを不正利用したDDoS攻撃に関するご注意

障害情報

新しい障害情報はありません。

メンテナンス

Date	Title
2015/06/11 20:56	[VPS (KVM)]サーバーメンテナンス
2015/06/12 17:03	[VPS (KVM)]サーバーメンテナンス

⑤ 表示されたサーバーリストより、対象サーバーの IP アドレスをご確認ください。

サーバーリスト

状態	ラベル	IPアドレス	初期ホスト名	CPU	メモリ	HDD	操作
稼働中	kvm	[IPアドレス]	[初期ホスト名]	仮想2Core	2048MB	200GB	[操作]

※あわせて表示されたサーバーのスペック情報などをご確認ください。

3. 新コントロールパネル (cPanel) について

移行先（新サーバー環境）におきましては、以前までのオリジナルコントロールパネルでは無く、「cPanel」と言うコントロールパネルにてご提供させていただいております。

■cPanel について

「cPanel」とは、お客様が通常ご利用されておりますブラウザ上からアクセスすることで、ご契約サーバーに関する設定作業をグラフィカルな環境にて操作いただくことが可能なコントロールパネルとなっております。

※アクセスいただくことで、FTP アカウントやメールアカウントの設定などをブラウザ上から操作していただくことが可能です。

《注意事項》

新環境にてご用意させていただいております「cPanel」に関しましては、弊社にてランダムなパスワードを使用して設定を行わせていただいております。

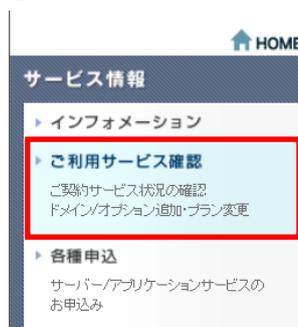
このため、「cPanel」にアクセスしていただく為には、以下の手順にてサーバー全体を操作することが可能な「WHM」と言う別管理画面にアクセスいただき、「cPanel」へのログインパスワードを再発行(変更)いただきますよう、お願いいたします。

①以下 URL にアクセスいただき、弊社「サーバーNavi」にログインしてください。

【URL】 <https://my.rentalserver.jp/login.aspx>



②ログイン後、画面左側より「ご利用サービス確認」をクリックしてください。



- ③ 画面右側に表示された「VPS (KVM) cPanel プラン」側の「コントロールパネル詳細」をクリックしてください。

▼ VPS(KVM)			
プラン	IPアドレス	状態	コントロールパネル
VPS (KVM) cPanelプラン	██████████	稼働中	VPS ██████████ [ログインする]

コントロールパネル詳細 コントロールパネル詳細画面でコントロールパネルの統合・分離ができません

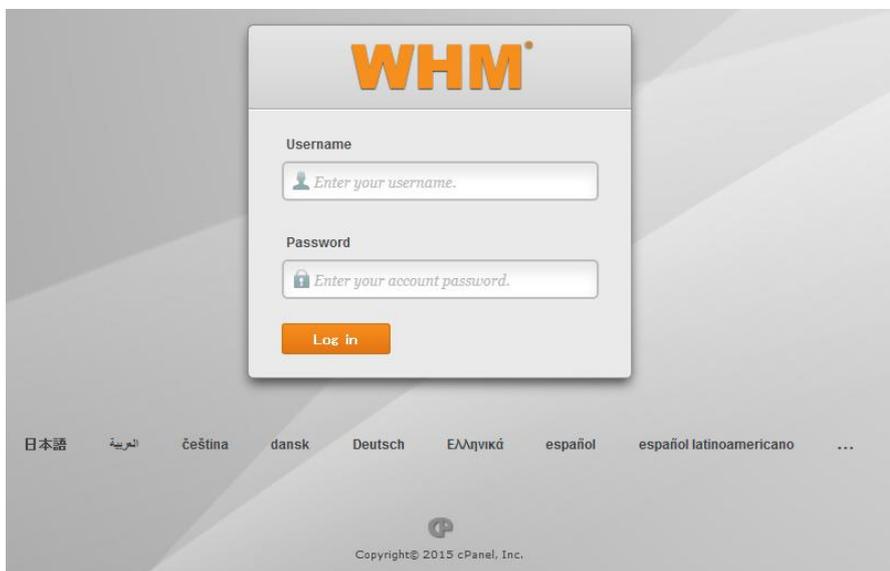
- ④ 新サーバー環境への管理者 (root) パスワードが表示されますので、ご確認ください。

▼ コントロールパネル一覧			
ログインID	██████████		★ ログインする
パスワード	██████████		
管理VPS	██████████	kvm ██████████	

※こちらでご確認されたパスワード情報は、以下手順にて「WHM」のログイン画面にてご使用いただきますので、情報を控えて置いてください。

- ⑤ 管理者 (root) パスワードをご確認後、同時に表示されております IP アドレスを控えていただき、まずは「WHM」と言う別コントロールパネルにログインしてください。

【WHM へのログイン URL】 <https://IPアドレス:2087>

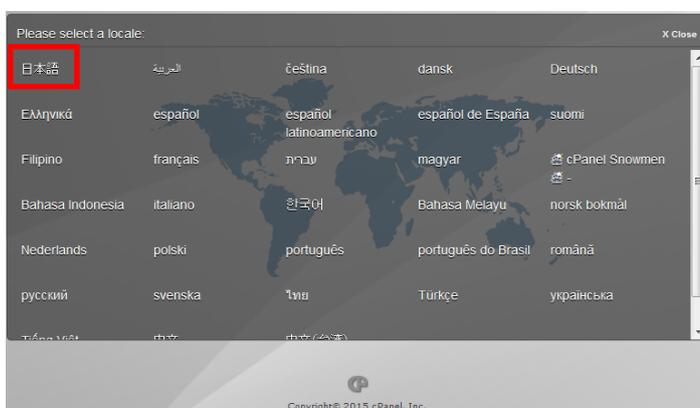


※「WHM」のログイン画面となります。

⑥ 言語設定を日本語にご変更いただく為、「・・・」をクリックしてください。



⑦ 日本語をご選択ください。



⑧ 元のログイン画面に戻りますので、日本語にて表示されていることをご確認のうえ、「WHM」にログインしてください。

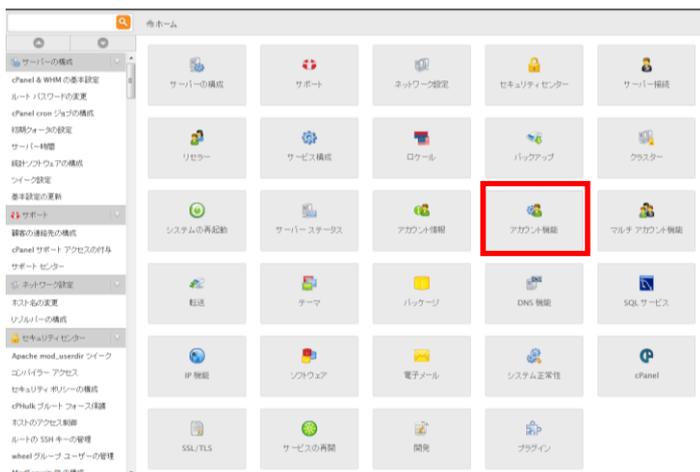


【ユーザー名】 root

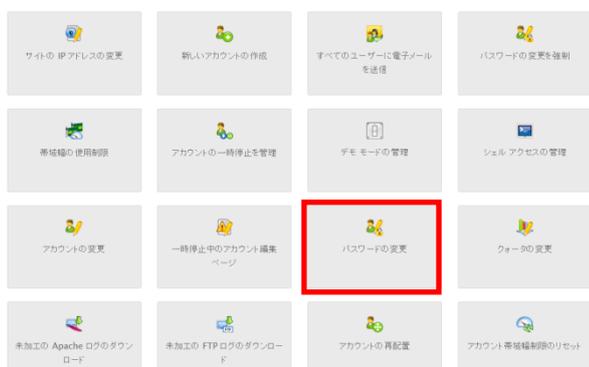
【パスワード】 上記手順にてご確認ください

※ 「サーバーNavi」 上からご確認ください。

⑨ 「WHM」にログイン後、「アカウント機能」をクリックしてください。



⑩ 「パスワードの変更」をクリックしてください。



⑪ 弊社にてご用意させていただいておりますユーザー名が表示されますので、対象のユーザー名をご選択のうえ、パスワードをご変更ください。

👤 パスワードの変更

A screenshot of the '新しいパスワードが必要なアカウントを選択します' (Select accounts that need a new password) dialog box. The dialog has two main sections: 'ドメイン' (Domain) and 'ユーザー' (User). The 'ユーザー' column contains a list of users, with 'root' highlighted in a red box. To the right of the list is a table of user details for 'root':

所有者	root
電子メール	
開始日付	15 Jun 17 19:51
テーマ	paper_lantern
パッケージ	
使用済みディスク	0M
ディスク制限	unlimited

Below the list is a 'Password Entry' section with two input fields for 'パスワード' (Password) and 'パスワード (再入力)' (Password (re-enter)). The 'パスワード' field is highlighted in a red box. Below the input fields is a '強度 (理由): Very Weak (0/100)' indicator and a 'Password Generator' button. At the bottom, there is a checkbox for 'ダイジェスト認証を有効にする' (Enable digest authentication) and a 'パスワードの変更' (Change Password) button, which is also highlighted in a red box.

※表示されております「ユーザー」に関しましては、「cPanel」へのログイン時にご利用いただく必要がございますので、お忘れのないようお願いいたします。

※「cPanel」以外にも、FTP 接続時にも必要となりますので、ご注意ください。

■ cPanel へのログイン方法について

※事前に前項目をご確認のうえ、「cPanel」のログインパスワードを再発行してください。

① cPanel への URL にアクセスしてください。

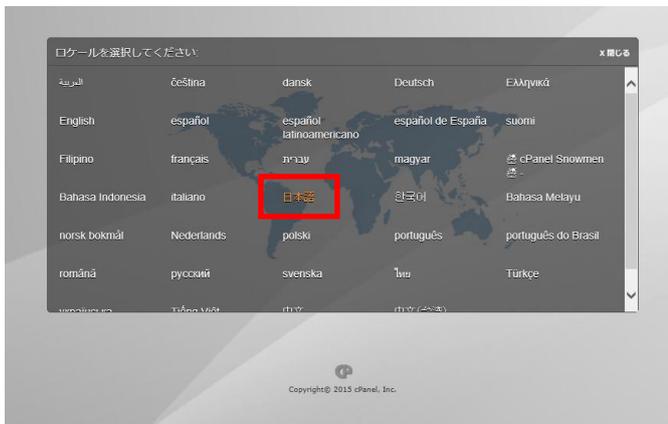
【URL】 <https://IPアドレス:2083>

※URLの末尾が「2083」となります。WHMにアクセスする際の「2087」と混同しないようにご注意ください。

② 言語設定を日本語にご変更いただく為、「・・・」をクリックしてください。



③ 日本語をご選択ください。



④ ログイン画面に戻りますので設定された言語にて表示されていることをご確認ください。

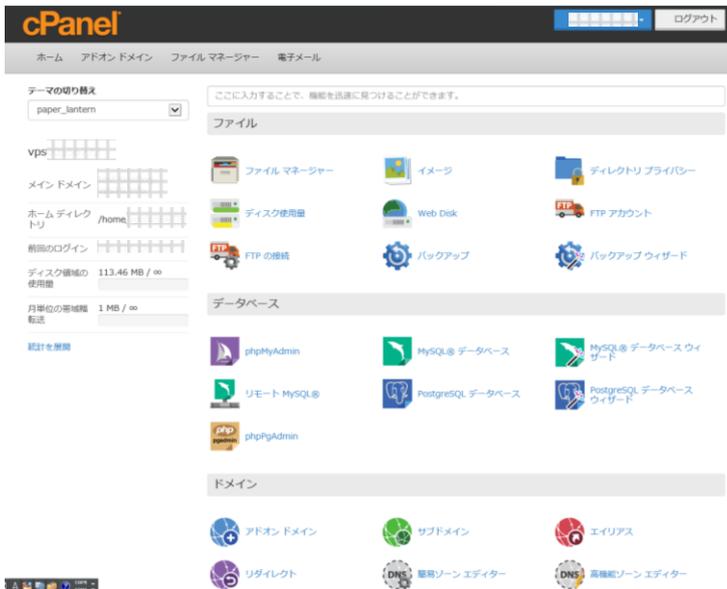


- ⑤ 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にログイン情報をご入力のうえ、「ログイン」ボタンをクリックしてください。



※9 ページ目の手順にて変更されたパスワード情報と、表示されておりましたユーザー名をご入力ください。

- ⑥ 正常にログインした場合、以下のような画面が表示されます。



以上で「cPanel」へのログイン作業は完了となります。

次ページ以降より、ホームページデータやメールアカウントの確認方法等をご説明させていただきます。

4. 移行したホームページデータの確認について

※こちらのページより、新コントロールパネル（cPanel）を使用した移行データの確認方法や操作手順をご案内させていただきます。新コントロールパネル（cPanel）へのログイン方法に関しましては、前ページをご参照ください。

お客様のホームページデータに関しましては、冒頭にてご案内させていただきました通りご利用中の旧環境の状態に合わせ、弊社側にて旧サーバー環境から新サーバー環境へと移行させていただいております。

以下の手順にて移行済みデータをご確認ください。

■ ファイルマネージャーを使用した確認方法

- ① cPanel にログインしてください。
- ② 画面上部に表示された「ファイルマネージャー」、またはアイコンをクリックしてください。

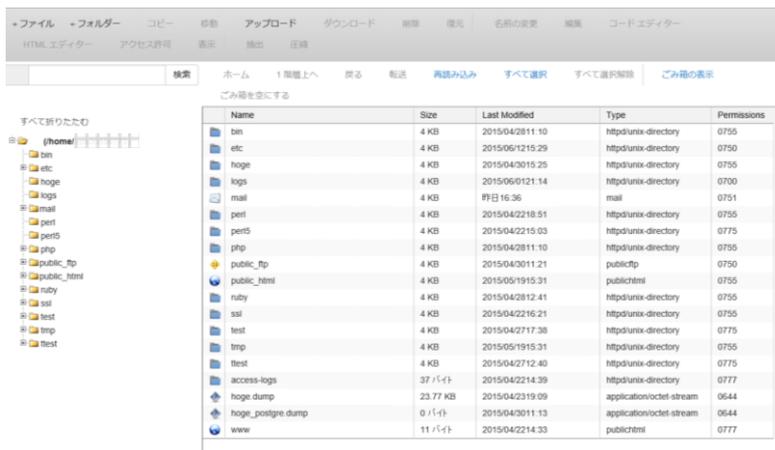


※アイコン側をクリックした場合、以下のような画面が表示されます。

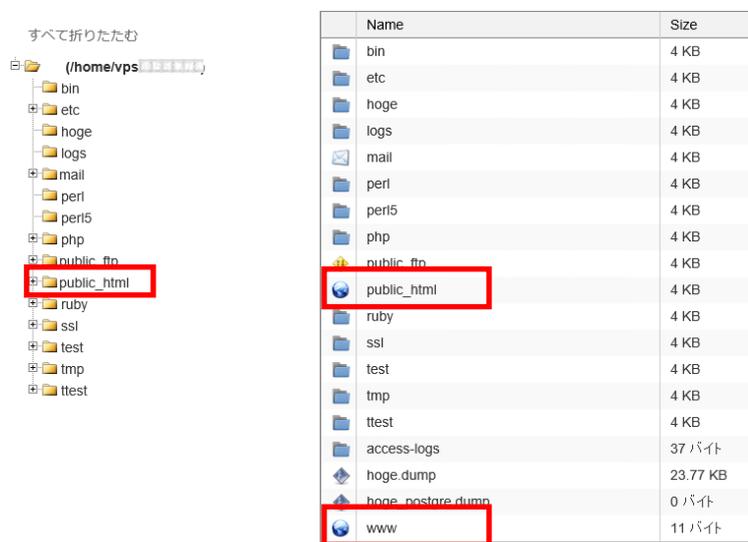


通常の場合、特に設定を変更することなく「Go」ボタンをクリックしてください。
（ボタンをクリックした後の動作をお客様の任意に設定いただけます）

③ ウィンドウ（または別タブ）にて以下のような画面が表示されます。



④ 「public_html」、または「www」をクリックしてください。



※ 「public_html」と「www」フォルダは、
どちらをクリックしても同じ内容が表示されるようになっております。

⑤ 弊社にて移行が完了致しておりますデータが表示されますので、ご確認ください。

※お客様がご利用中の旧環境のご状態によっては、必ずしも「public_html」フォルダ内に
ホームページデータが設置されているとは限りませんので、ご注意ください。

※「WordPress」などを使用して動的なホームページをご利用中のお客様の場合、
弊社にてホームページデータの移行作業は行っておりませんので、お客様にて
FTP ソフトなどを使用して、ホームページデータの移行をお手続きください。

※旧サーバー環境にてマルチドメイン(アドオンドメイン)を追加されているお客様の場合、
「public_html」と同階層に、ドメイン名にてフォルダを作成しております。

■FTP アカウントの確認方法

FTP アカウントに関しましては、弊社側にて新サーバー環境をご用意した際、初期状態にてご用意させていただいております。

以下の手順にて FTP アカウント情報をご確認ください。

- ① cPanel にログインしてください。
- ② 「FTP アカウント」をクリックしてください。



- ③ 「FTP アカウント」の追加画面と一覧が表示されますので、画面の一番下に表示された「特別な FTP アカウント」をご確認ください。

特別な FTP アカウント

特別な FTP アカウントは、ホスティング アカウントの管理項目にリンクされており、削除できません。詳細については、[documentation](#)を参照してください。

種類	ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション
人	+++++	/home/hamamoto	0 / unlimited MB	FTP クライアントの構成
人	+++++	/usr/local/a...ogs/hamamoto	0 / unlimited MB	FTP クライアントの構成

ホーム 商標 ドキュメント

cPanel 11.50.0.22

《FTP アカウントのパスワードについて》

弊社にて作成済みの「FTP アカウント」のパスワードに関しましては、9 ページの手順にて設定していただきました「cPanel」にログインしていただく際のパスワード情報と同一となります。

【FTP ユーザー名】 vps*****@ドメイン名

【FTP パスワード】 「cPanel」にログインしていただく際のパスワード

※旧サーバー環境とは異なり、FTP 接続を行っていただく際、ユーザー名（ログイン名）には「@ドメイン名」が必要となりますので、ご注意ください。

※「FFFTP」などの FTP ソフトを使用して接続を行っていただく場合、「FTP over SSL」等のご利用されず、通常の「FTP 接続」にてアクセスをお確かめください。
(「FFFTP」の場合、「暗号化」タブ内は「暗号化なしで接続を許可」のみチェック)

■FFFTPでの接続方法

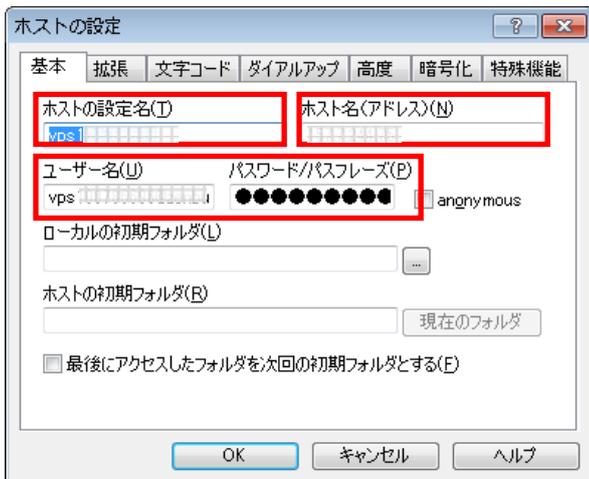
「FFFTP」は、「Windows系」のパソコンで使用可能なFTPソフトとなっております。
以下に「FFFTP」を使用したFTP接続の方法を記載いたします。

※以下手順は、お客様にて「FFFTP」をインストールされていることを前提に
記載致しておりますので、「FFFTP」をインストールされていられない場合、
お客様にてインストールを行ってください。

- ① 「FFFTP」を起動してください。
- ② 起動時に表示される「ホスト一覧」より「新規ホスト」をクリックしてください。



- ③ 「ホストの設定」画面が表示されますので、以下情報を参考に「基本」タブ内の各項目をご入力ください。



【ホストの設定名】お客様の任意な情報で問題ございません。

【ホスト名(アドレス)】新サーバー環境のIPアドレスをご入力ください。

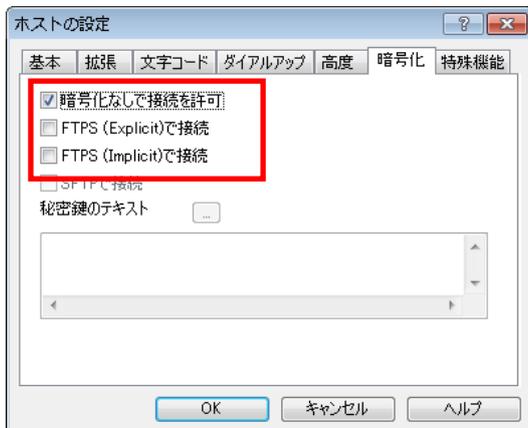
【ユーザー名】vps*****@マスタードメイン名

【パスワード/パスフレーズ】「cPanel」にログインする際のパスワード

- ※「ユーザー名」の「vps*****」は「cPanel」にログインする際のユーザー名です。
- ※「ユーザー名」は、旧サーバー環境と異なり、必ず「@」マークとドメイン名が必要となりますので、ご注意ください。

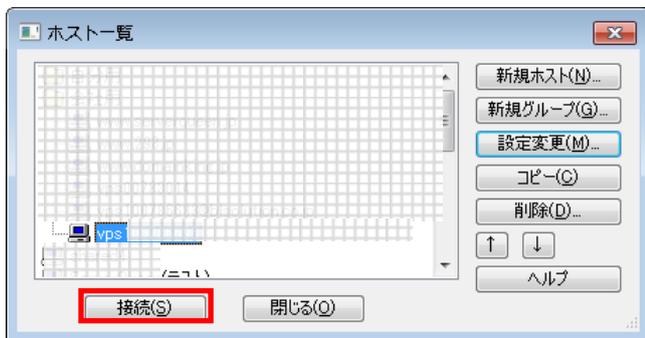
- ④ 続いて「拡張」タブをクリックいただき、設定内容をご確認ください。
 ※基本的にはデフォルト(標準)設定のままで問題ございません。
 ※「PASV モードを使う」にチェックが入っているかだけご確認ください。

- ⑤ 最後に「暗号化」タブをクリックいただき、設定内容をご確認ください。

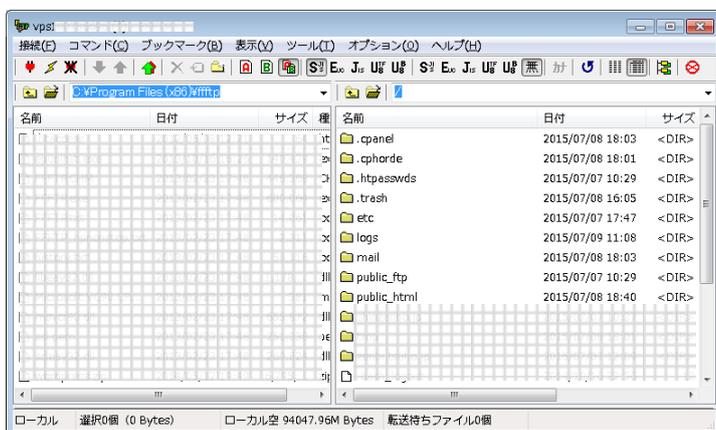


【暗号化なしで接続を許可】にチェックあり
 【FTP (Explicit) で接続】はチェックなし
 【FTP (Implicit) で接続】はチェックなし

- ⑥ 各種設定をご確認いただきましたら、「OK」ボタンをクリックしてください。
 ⑦ 「ホスト一覧」画面に戻りますので、「接続」ボタンをクリックしてください。



- ⑧ 無事接続いただきましたら、以下のような形でフォルダの一覧が表示されますので、ホームページのアップロードなどをお試しください。



■DNS 変更前にホームページデータを確認する方法

DNS をご変更いただく前に「http://ドメイン」としてアクセスされましても、旧サーバー側でのホームページデータが表示されます。

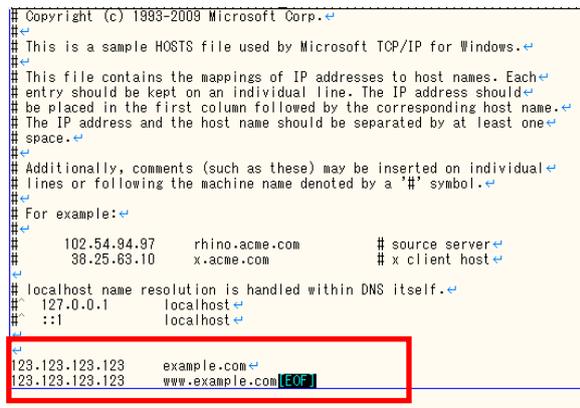
そこで、以下手順にてお客様がご利用中のパソコン内の設定をご変更いただくことで、お客様がご利用されておりますパソコン上からアクセスされた場合のみ、新サーバー環境側でのホームページデータをご確認いただく方法を記載致します。

【Windows 7 の場合】

- ① 以下の場所に保存されている「hosts」と言うファイルをテキストエディタなどにて開いてください。

《hosts ファイルの保存先》

C:\Windows\System32\drivers\etc



```
Copyright (c) 1993-2009 Microsoft Corp.
This is a sample HOSTS file used by Microsoft TCP/IP for Windows.
This file contains the mappings of IP addresses to host names. Each
entry should be kept on an individual line. The IP address should
be placed in the first column followed by the corresponding host name.
The IP address and the host name should be separated by at least one
space.
Additionally, comments (such as these) may be inserted on individual
lines or following the machine name denoted by a '#' symbol.
For example:
102.54.94.97 rhino.acme.com # source server
30.25.63.10 x.acme.com # x client host
# localhost name resolution is handled within DNS itself.
^::1 localhost
::1 localhost
123.123.123 example.com
123.123.123 www.example.com
```

※テキストエディタにて開いた画面となります。

※「hosts」ファイルに関しましては、パソコン内の重要なファイルとなりますので、編集前にバックアップを行われることを推奨致します。

- ②開いたファイル内の一番下の部分に以下のような形で情報をご入力ください。

[新 IP アドレス] [ドメイン名]

[新 IP アドレス] [www.ドメイン名]

※括弧は必要ありません。上記画像のようにご入力ください。

【例】

123.123.123.123 example.com

- ③上書き保存にて「hosts」ファイルを閉じてください。

- ④実際にお客様が通常ご利用されておりますブラウザ上にて以下 URL に

アクセスを行っていただき、新環境側でのホームページの表示等をお確かめください。

【URL】 <http://ドメイン名> または <http://www.ドメイン名>

※表示確認が終わりましたら、「hosts」ファイルを元の設定に戻してください。

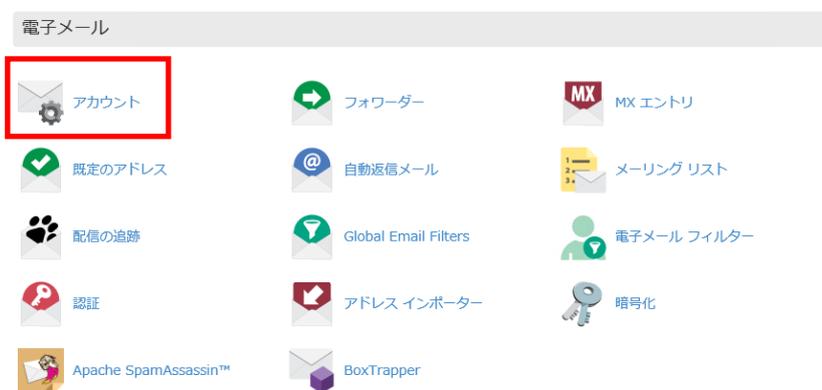
5. 移行したメールアカウントの確認について

※ホームページデータと同じく、新コントロールパネル（cPanel）を使用した移行データの確認方法や操作手順をご案内させていただきます。新コントロールパネル（cPanel）へのログイン方法に関しましては、9 ページをご参照ください。

弊社にて移行させていただきましたメールアカウントに関しましては、以下手順にてご確認いただけます。

■cPanel 上での確認方法

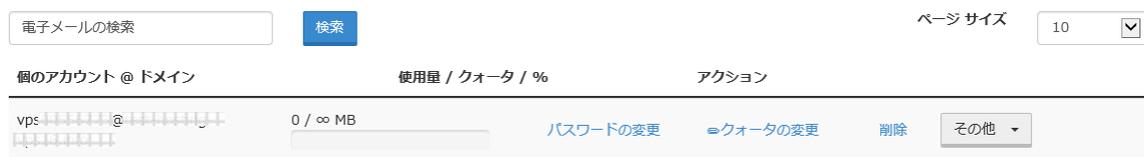
- ① cPanel にログインしてください。
- ② 「電子メール」の項目内に表示された「アカウント」をクリックしてください。



※または画面上部の「電子メール」をクリックしてください。

- ③画面中段付近に作成済みのメールアカウントが表示されますので、旧サーバー側にて作成されていたアカウントが存在するかどうか、ご確認ください。

電子メール アカウント



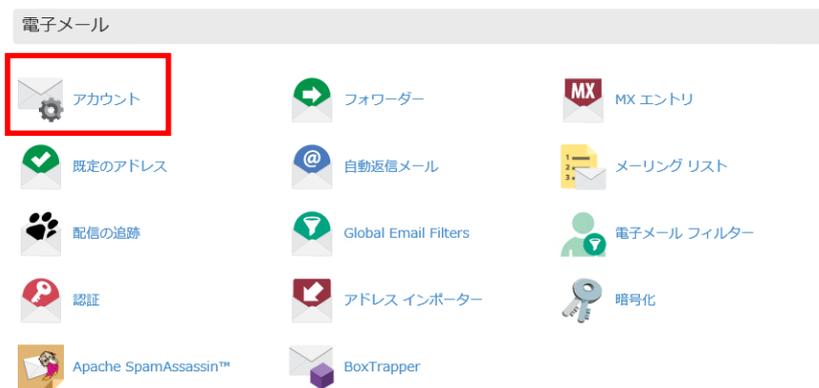
《注意事項》

なお、弊社側にて旧サーバー環境と同じメールアカウントを作成いたしておりますが、各メールアカウントのパスワード情報に関しましては、ランダムな情報にて設定作業を行わせていただいております。

お手数ではございますが、新サーバー環境側にて作成させていただいておりますメールアカウントをご利用いただく場合には、以下の手順にてパスワード情報を再設定いただきますよう、お願いいたします。

■ メールアカウントのパスワード変更について

- ① cPanel にログインしてください。
- ② 「電子メール」の項目内に表示された「アカウント」をクリックしてください。



※または画面上部の「電子メール」をクリックしてください。

- ③ パスワードの変更を希望されるメールアカウントの右側の項目より、「パスワードの変更」をクリックしてください。

電子メール アカウント



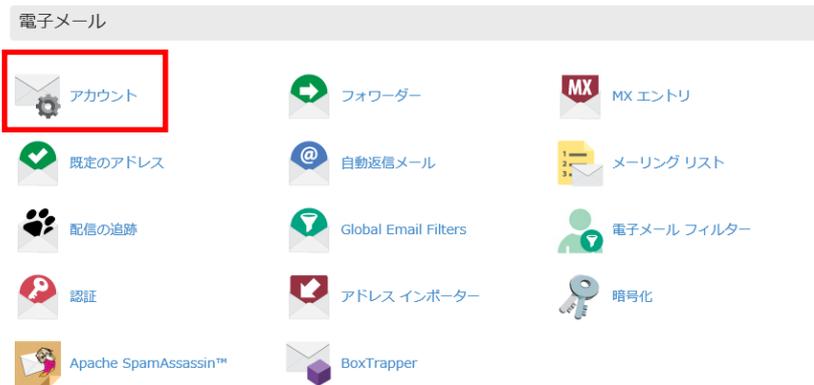
- ④ すぐ真下にパスワード変更用の項目が表示されますので、変更後のパスワードをご入力の上、「パスワードの変更」ボタンをクリックしてください。



■メールソフト側での設定変更について

メールソフト側にて、新サーバー環境側のメールアカウントを使用した送受信を行われない場合、以下の手順にて設定情報をご確認いただき、ご利用中のメールソフト側に追加のうえ、ご利用ください。

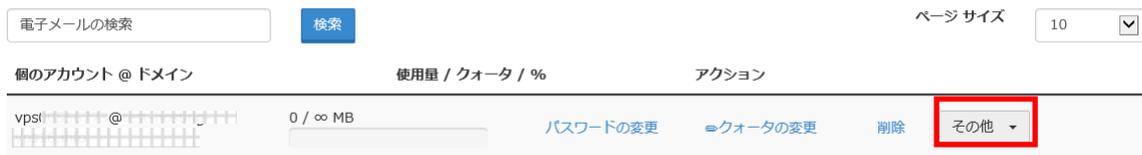
- ① cPanel にログインしてください。
- ② 「電子メール」の項目内に表示された「アカウント」をクリックしてください。



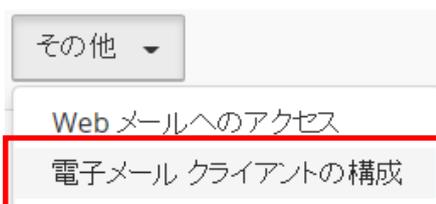
※または画面上部の「電子メール」をクリックしてください。

- ③ 対象メールアカウントの右側に表示された「その他」をクリックしてください。

電子メール アカウント



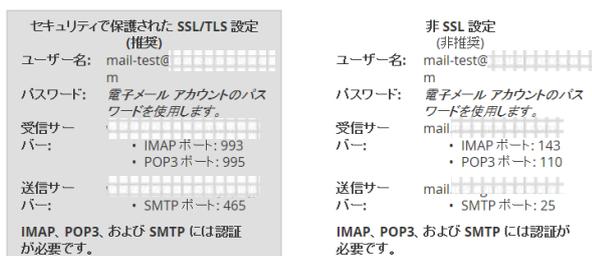
- ④ 「電子メールクライアントの構成」をクリックしてください。



- ⑤ 画面中段付近の「手動設定」の項目をご確認ください。

手動設定

上のリストでクライアント用の自動構成スクリプトが見つからない場合は、以下の設定を使用してメールクライアントを手動で構成できます：



6. データベース (MySQL) について

※データベースに関しましては、旧サーバー環境側で設定されておりましたデータベースの「管理者パスワード」情報がわかりかねますため、弊社にてデータベースの情報を移行させていただくことができかねます。このため、以下手順にて旧サーバー環境よりデータベースのデータを抽出いただき、新サーバー環境側への移行を行ってご利用ください。

■新環境でのデータベースの作成方法

- ① cPanel にログインしてください。
- ② データベースの項目内に表示された「MySQL®データベース」をクリックしてください。



- ③ 「新しいデータベースの作成」画面にて、作成されたいデータベース名をご入力のうえ、「データベースの作成」ボタンをクリックしてください。

新しいデータベースの作成



- ④ 以下のようなメッセージが表示されれば、データベースの作成は完了です。「戻る」ボタンをクリックして、前の画面に戻ってください。

MySQL® データベース

データベース "vps_wordpress" が追加されました。



- ⑤ 続いて、データベースを操作するために必要な「ユーザー」の作成を行います。
画面中段付近の「新しいユーザーの追加」画面にて、作成されたい「ユーザー名」、
「パスワード」をご入力のうえ、「ユーザーの作成」ボタンをクリックしてください。

新しいユーザーの追加

ユーザー名
vps#####_ []

パスワード
[]

パスワード (再入力)
[]

強度
非常に弱い (0/100) パスワード生成ツール

ユーザーの作成

※パスワードに関しましては、「半角英数字の小文字・大文字」以外にも
「記号（%, !, #など）」を使用して「強度」を高く設定してください。

- ⑥ 以下のようなメッセージが表示されれば、ユーザーの作成は完了です。
「戻る」ボタンをクリックして、前の画面に戻ってください。

MySQL® データベース

✔ “#####_user” という名前の MySQL ユーザーが正常に作成されました。

← 戻る

- ⑦ 最後に作成したユーザーとデータベースを関連付けすることで、作業は完了です。
紐付けしたいユーザーとデータベースをご選択のうえ、「追加」ボタンを
クリックしてください。

ユーザーをデータベースに追加

ユーザー
vps#####_maus []

データベース
vps#####_database []

追加

- ⑧ ユーザーに付与する権限を決める為の画面が表示されますので、
「すべての権限」にチェックを付け、画面下の「変更」をクリックしてください。

ユーザー権限の管理

ユーザー: []_user

データベース: []_wordpress

<input checked="" type="checkbox"/> すべての権限	
<input checked="" type="checkbox"/> ALTER	<input checked="" type="checkbox"/> ALTER I
<input checked="" type="checkbox"/> CRFATE	<input checked="" type="checkbox"/> CRFATE
<input checked="" type="checkbox"/> INDEX	<input checked="" type="checkbox"/> INSE
<input checked="" type="checkbox"/> LOCK TABLES	<input checked="" type="checkbox"/> REFE
<input checked="" type="checkbox"/> SELECT	<input checked="" type="checkbox"/> SHO
<input checked="" type="checkbox"/> TRIGGER	<input checked="" type="checkbox"/> UPD

[戻る](#)

- ⑨ 以下のようなメッセージが表示されましたら、データベースの作成作業は完了です。

MySQL® データベース

ユーザーを MySQL® データベースに追加

✓ ユーザー “[]_user” が要求された権限でデータベース “[]_wordpress” に追加されました。

[戻る](#)

7. WordPress の移行・バージョンアップに方法について

※データベースに関しましては、旧サーバー環境側で設定されておりましたデータベースの「管理者パスワード」情報がわかりかねますため、弊社にてデータベースの情報を移行させていただくことができかねます。
このため、以下手順にて旧サーバー環境よりデータベースのデータを抽出いただき、新サーバー環境側への移行を行ってご利用ください。

旧サーバー環境にて「WordPress」をご利用されていたお客様の場合、以下の手順にてホームページデータ、データベースデータの移行作業が必要となります。

■ホームページデータの移行について

- ① まず、旧サーバー環境側の FTP アカウントを使用いただき、旧サーバー環境のホームページデータを全てご利用中のパソコン側へダウンロードしてください。
- ② 続いて、旧サーバー環境からダウンロードされたデータを、新サーバー環境側の FTP アカウント情報にて、「public_html」フォルダ側へアップロードしてください。

※新サーバー環境側の FTP アカウント情報に関しましては、15 ページの手順にて設定内容などをご確認ください。

■旧サーバー環境からデータの抽出方法（phpMyAdmin を使用した場合）

- ① 旧サーバー環境のコントロールパネルにログインしてください。
- ② 「システム設定」をクリックしてください。



The screenshot shows the VPS Control Panel interface. At the top, there is a navigation bar with 'ホーム' (Home), 'システム設定' (System Settings), and 'ドメイン設定' (Domain Settings). The 'システム設定' item is highlighted with a red rectangular box. Below the navigation bar, there is a 'ご利用状況' (Usage Status) section with a table showing server status, IP addresses, domains, shell accounts, email accounts, and FTP accounts. The 'お知らせ' (Notice) section contains several security-related notices, and the '障害・メンテナンス情報' (Incident/Maintenance Information) section is also visible.

サーバーステータス	IPアドレス数	ドメイン数	シェルアカウント数	メールアカウント数	FTPアカウント数
稼働中	1	1	1	0	0

③ 「データベース」内の「MySQL」をクリックしてください。



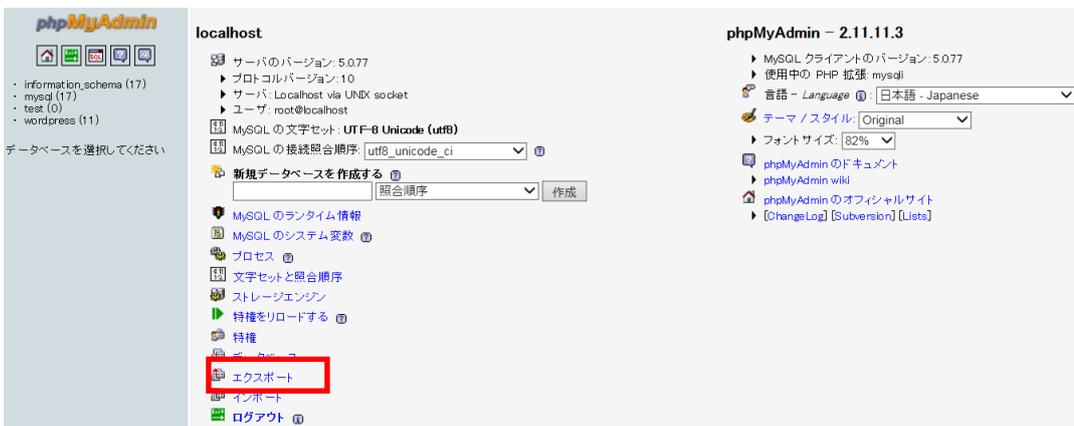
④ 「phpMyAdmin のログイン URL はこちら」をクリックしてください。



⑤ 「root」権限のパスワードを求められますので、「root」権限の情報をご入力の上、「OK」ボタンをクリックしてください。



⑥ 別画面にて「phpMyAdmin」画面が表示されます。「エクスポート」をクリックしてください。



⑦ 移行を希望されるデータベース名をご選択ください。

⑧ その他の設定はデフォルトのまま、「ファイルに保存する」にチェックを入れてください。

⑨ 画面右下の「実行する」ボタンをクリックしてください。

⑩ 以下画面のような形にてダウンロードが開始されますので、保存してください。

以上の手順にて旧サーバー環境からデータベースのデータ抽出は完了となります。
抽出されたデータに関しましては、次の項目にて、
新サーバー環境へデータを移行する際に必要となります。

■新サーバー環境（cPanel）へのデータの移行方法（phpMyAdmin を使用した場合）

旧サーバー環境より抽出されたデータを新サーバー環境に移行される場合、以下4点の作業が必要となりますので、順を追ってご確認ください。

（1）新サーバー環境側にてデータベース、データベースユーザーの作成

新サーバー環境でのデータベース、データベースユーザーの作成方法に関しましては、21 ページの手順をご確認ください。

（2）旧サーバー環境にて抽出したデータの加工作業

前項目にて抽出された旧サーバー環境でのデータベースデータに関しましては、誠に申し訳ございませんが、抽出したデータのままで使用することが出来ません。このため、抽出したデータに対しまして、以下内容での修正をお願いいたします。

- ① 旧サーバー環境より抽出したデータ(.sql ファイル)を、お客様がご利用中のパソコン上に搭載されておりテキストエディタなどにて開いてください。

```
-- phpMyAdmin SQL Dump
-- version 2.11.11.3
-- http://www.phpmyadmin.net
--
-- ホスト: localhost
-- 生成時間: 2015 年 6 月 18 日 01:32
-- サーバのバージョン: 5.0.77
-- PHP のバージョン: 5.1.6
SET SQL_MODE="NO_AUTO_VALUE_ON_ZERO";
--
-- データベース: `wordpress`
--
CREATE DATABASE `wordpress` DEFAULT CHARACTER SET latin1 COLLATE latin1_swedish_ci;
USE `wordpress`;
--
-- テーブルの構造 `wp_commentmeta`
--
CREATE TABLE IF NOT EXISTS `wp_commentmeta` (
  `meta_id` bigint(20) unsigned NOT NULL auto_increment,
  `comment_id` bigint(20) unsigned NOT NULL default '0',
  `meta_key` varchar(255) default NULL,
  `meta_value` longtext,
  PRIMARY KEY (`meta_id`),
  KEY `comment_id` (`comment_id`),
  KEY `meta_key` (`meta_key`)
) ENGINE=MyISAM DEFAULT CHARSET=utf8 AUTO_INCREMENT=1 ;
```

- ② 開いていただくと、上記画面のように抽出したデータが表示されますので、22 行目付近に表示されている以下内容まで、削除してください。

USE `wordpress`;

```
-- phpMyAdmin SQL Dump
-- version 2.11.11.3
-- http://www.phpmyadmin.net
--
-- ホスト: localhost
-- 生成時間: 2015 年 6 月 18 日 01:32
-- サーバのバージョン: 5.0.77
-- PHP のバージョン: 5.1.6
SET SQL_MODE="NO_AUTO_VALUE_ON_ZERO";
--
-- データベース: `wordpress`
--
CREATE DATABASE `wordpress` DEFAULT CHARACTER SET latin1 COLLATE latin1_swedish_ci;
USE `wordpress`;
--
-- テーブルの構造 `wp_commentmeta`
--
CREATE TABLE IF NOT EXISTS `wp_commentmeta` (
  `meta_id` bigint(20) unsigned NOT NULL auto_increment,
  `comment_id` bigint(20) unsigned NOT NULL default '0',
  `meta_key` varchar(255) default NULL,
  `meta_value` longtext,
  PRIMARY KEY (`meta_id`),
  KEY `comment_id` (`comment_id`),
  KEY `meta_key` (`meta_key`)
) ENGINE=MyISAM DEFAULT CHARSET=utf8 AUTO_INCREMENT=1 ;
USE `wordpress`;
--
-- テーブルの構造 `wp_comments`
--
CREATE TABLE IF NOT EXISTS `wp_comments` (
  `comment_ID` bigint(20) unsigned NOT NULL auto_increment,
  `comment_post_ID` bigint(20) unsigned NOT NULL default '0',
  `comment_author` tinytext NOT NULL,
  `comment_author_email` varchar(100) NOT NULL default '',
  `comment_author_url` varchar(200) NOT NULL default '',
  `comment_author_IP` varchar(100) NOT NULL default '',
  `comment_date` datetime NOT NULL default '0000-00-00 00:00:00',
  `comment_date_gmt` datetime NOT NULL default '0000-00-00 00:00:00',
  `comment_content` text,
  `comment_karma` int(11) NOT NULL default '0',
  `comment_approved` tinyint(4) NOT NULL default '1',
  `comment_agent` varchar(255) NOT NULL default '',
  `comment_type` varchar(25) NOT NULL default ''
) ENGINE=MyISAM DEFAULT CHARSET=utf8;
```

- ③ 不要な部分を削除されましたら、「USE `wordpress`;」の部分に関しましても、以下のように改修をお願いいたします。

【改修前】 USE `wordpress`;



【改修後】 USE `新サーバー環境にて作成されたデータベース名`;

例) USE `vps123456_wordpress`;

- ④ 編集されたデータを保存してください。

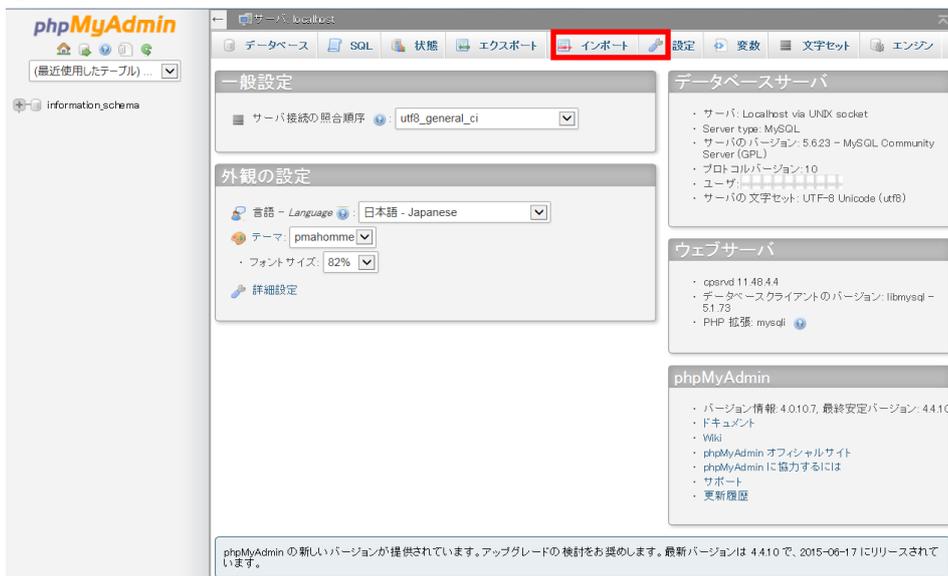
(3) 加工作業の終わった旧サーバー環境のデータ移行作業

加工が終わった抽出データを以下の手順にて、新サーバー環境へと移行してください。

- ① cPanel にログインしてください。
② 「データベース」の項目内に表示された「phpMyAdmin」をクリックしてください。



- ③ 「phpMyAdmin」の画面が表示されますので、「インポート」をクリックしてください。



- ③ 「参照」 ボタンをクリックのうえ、旧サーバー環境にて抽出したデータをご選択ください。

現在のサーバへのインポート

インポートするファイル:

ファイルは圧縮されていないもの、もしくは、gzip, bzip2, zip で圧縮されているもの。
圧縮ファイルの名前は【フォーマット】【圧縮形式】で終わっていること。例: sql.zip

アップロードファイル: 参照... (最長: 50MiB)

ファイルの文字セット: utf-8

- ④ その他の設定はデフォルトのまま、画面下の「実行」ボタンをクリックしてください。

実行

- ⑤ 以下のようなメッセージが表示されれば、移行作業は完了です。

✔ インポートは正常に終了しました。22 個のクエリを実行しました。(localhost2.sql)

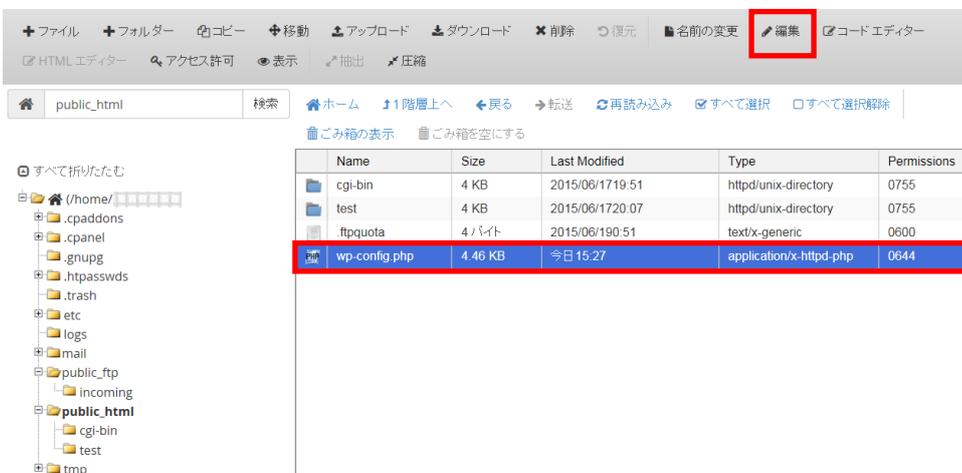
(4) WordPress 側の設定ファイルの書き換え作業

前項目までの手順にて、データベースデータの移行作業自体は完了となりますが、FTP ソフト等を使用して移行されたホームページデータ内より、WordPress 用の設定ファイルを編集していただく必要があります。

- ① cPanel にログインしてください。
- ② 「ファイルマネージャー」をクリックしてください。
- ③ 画面左側より「public_html」をクリックしていただき、「WordPress」を設置されているフォルダを開いてください。



- ④ 「WordPress」を設置されているフォルダを開いていただきますと、データベースに接続する為の情報が記載された「wp-config.php」というファイルを選択のうえ、画面上部の「編集」をクリックしてください。



※以下のような画面が表示された場合、「Edit」をクリックしてください。



- ⑤ 以下のような編集画面が表示されますので、「DB_NAME」、「DB_USER」、「DB_PASSWORD」を新サーバー環境にて作成された情報へ変更してください。



```
<?php
/**
 * The base configurations of the WordPress.
 *
 * このファイルは、MySQL、テーブル接頭辞、秘密鍵、言語、ABSPATH の設定を含みます。
 * より詳しい情報は {@link http://wpdocs.sourceforge.jp/wp-config.php_%E3%81%AE%E7%B7%A8%E9%9B%86
 * wp-config.php の編集} を参照してください。MySQL の設定情報はホスティング先より入手できます。
 *
 * このファイルはインストール時に wp-config.php 作成ウィザードが利用します。
 * ウィザードを介さず、このファイルを "wp-config.php" という名前でコピーして直接編集し値を
 * 入力してもかまいません。
 *
 * @package WordPress
 */
// 注意:
// Windows の "メモ帳" でこのファイルを編集しないでください !
// 問題なく使えるテキストエディタ
// (http://wpdocs.sourceforge.jp/Codex:%E8%AB%87%E8%A9%B1%E5%AE%A4 参照)
// を使用し、必ず UTF-8 の BOM なし (UTF-8N) で保存してください。

/** MySQL 設定 - こちらの情報はホスティング先から入手してください。 ** /
/** WordPress のためのデータベース名 */
define('DB_NAME', 'wordpress');

/** MySQL データベースのユーザー名 */
define('DB_USER', 'root');

/** MySQL データベースのパスワード */
define('DB_PASSWORD', '');

/** MySQL のホスト名 */
define('DB_HOST', 'localhost');

/** データベースのテーブルを作成する際のデータベースのキャラクターセット */
define('DB_CHARSET', 'utf8');

/** データベースの照合順序 (ほとんどの場合変更する必要はありません) */
define('DB_COLLATE', '');
```

※21 ページの手順にて作成された新サーバー環境にて作成されたデータベースの各種情報をご入力ください。

- ⑥ 画面上部の「変更の保存」をボタンをクリックしてください。

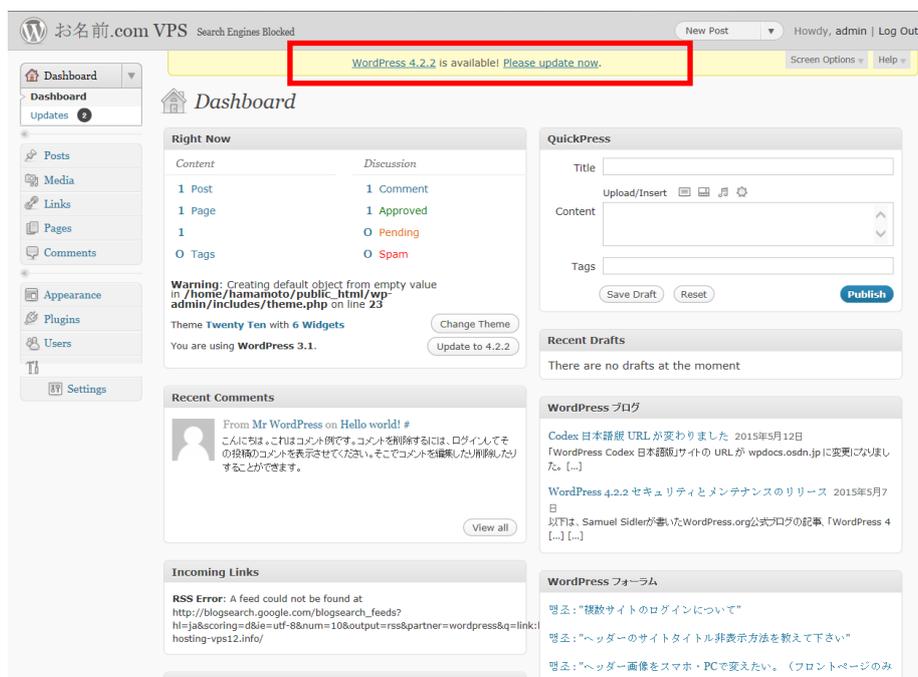
以上で、旧サーバー環境から新サーバー環境への「WordPress」の移行作業は完了となります。お客様にて、17 ページの方法などをご利用いただき、ドメイン名の向き先を新サーバー環境に向け、「WordPress」の表示などをご確認ください。

8. WordPress のバージョンアップ方法について

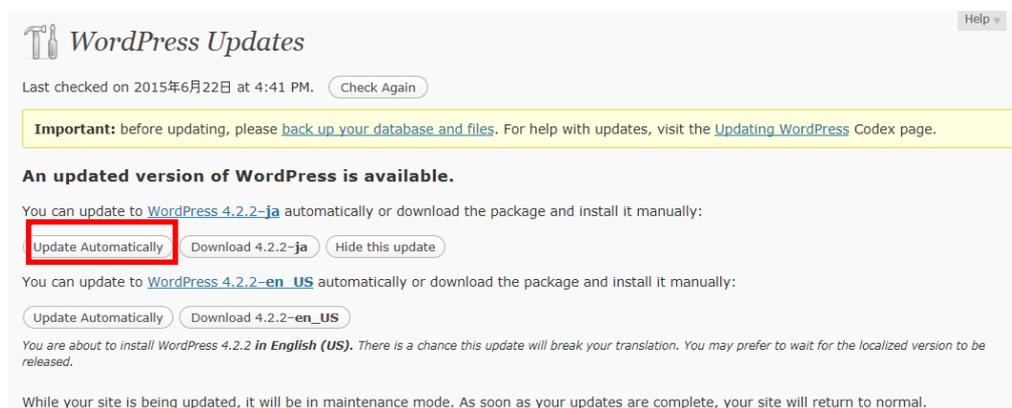
前ページの手順にて、旧サーバー環境から「WordPress」の移行作業は完了となりますが、最新版の「WordPress」をご利用中では無い場合には、以下の手順にて「WordPress」の管理画面にアクセスいただき、バージョンアップ作業を行ってください。

※ご利用されている「WordPress」のバージョンが「3.X系」の場合には、新サーバー環境の「PHP」のバージョン(5.5系)では動作しないプログラムが存在する為、「WordPress」の管理画面にアクセスされた際、「日本語」では無く「英語」にて表示される場合がございますので、ご注意ください。

- ① 新サーバー環境にて移行された「WordPress」の管理画面にログインしてください。
- ② 「WordPress」のバージョンが古い場合には、管理画面の上部にバージョンアップを促す項目が表示されますので、クリックしてください。



- ③ アップデートされる項目をご選択ください。



- ④ 以下のようなメッセージが表示されましたらファイル側のバージョンアップは完了となります。



※上記メッセージが表示されずに「FTP アカウント」情報を求められた場合、14 ページの方法にて確認された「FTP アカウント」の情報をご入力ください。

- ⑤ 再度「WordPress」の管理画面にアクセスしていただくと、以下のようにデータベースの更新に関しましても確認メッセージが表示されますので、「WordPress データベースを更新」をクリックしてください。



- ⑥ 以下のようなメッセージが表示されましたら、データベースの更新も完了となります。



以上で、「WordPress」のバージョンアップ作業は完了となりますので、お客様にて「WordPress」の管理画面にアクセスいただき、ご状況をご確認ください。

9. DNS の切り替えについて

お客様にて、新サーバー環境側のご状況をご確認いただき、ドメイン名の向き先に関して、変更をご希望の場合、お客様にてドメインの管理会社側へご連絡いただき、ネームサーバー（DNS）をご変更いただきますよう、お願いいたします。

《新サーバー環境側のネームサーバー情報》

【プライマリ DNS】 dns.ドメイン名

【セカンダリ DNS】 2nd.dnsv.jp

※プライマリ DNS はご利用のお客様ごとに異なる情報となりますので、弊社よりお送り致しております移行のお知らせメールをご確認ください。

なお、弊社にてドメインの取得を行われていらっしゃる場合には、以下の手順にてネームサーバー（DNS）をご変更いただきますよう、お願いいたします。

- ① 弊社「サーバーNavi」にログインしてください。
- ② 画面上部の「ドメイン Navi へ」をクリックしてください。



- ③ 自動的に「ドメイン Navi」側のページが表示されますので、画面下にて対象のドメイン名をご確認いただき、「ネームサーバー」欄に表示された「変更する」ボタンをクリックしてください。

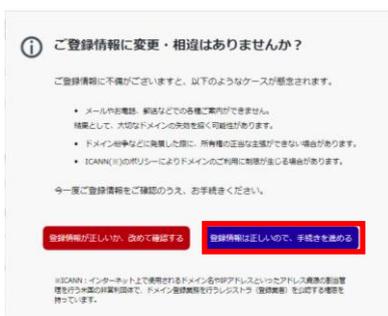
●ドメイン一覧

【重要】契約更新について
更新手続きを忘れて失効してしまったドメインが再取得専門業者に取崩・流用され、それまでのブランドイメージや信頼が毀損するトラブルが急増しています。ドメインを一度失効してしまうと、取り戻すことは極めて困難です。今一度その財産価値をご確認のうえ、[契約更新手続き](#)をお早めにお申込みください。

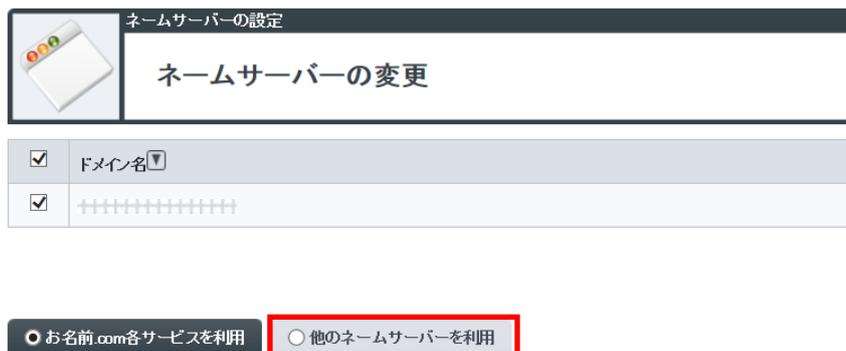
ドメイン名	更新期限日	契約更新	自動更新	サーバー申込み	Whois情報公開代行	ネームサーバー
*****.*****	2015/10/12 (残 112日)	更新する	未設定		解除する	変更する

[グループ設定](#) [情報ダウンロード](#)

- ④ 対象ドメインのご登録情報に関する確認事項が表示されます。特に変更等が無い場合には、「登録情報は正しいので、手続きを進める」をクリックしてください。



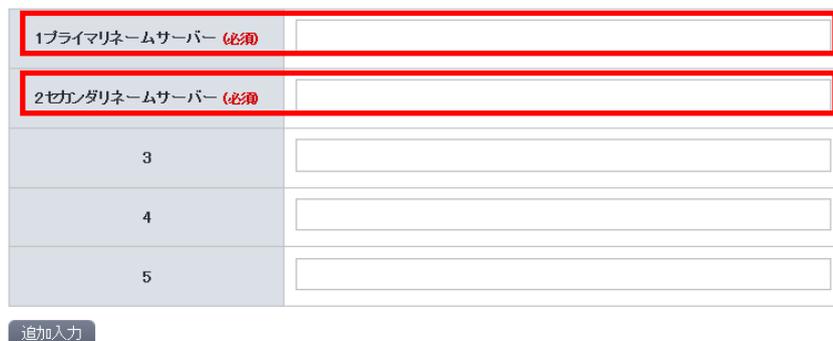
⑤ 「他のネームサーバーを利用」をご選択ください。



共用サーバーSD、VPS、転送Plus、レンタルDNSレコード設定をご利用いただく場合は、各サービスの「設定する」ボタンをクリックしてください。

⑥ 「ネームサーバー情報を入力」欄に新サーバー環境側のネームサーバー情報をご入力のうえ、「確認画面へ進む」ボタンをクリックしてください。

● ネームサーバー情報を入力



確認画面へ進む

⑦ 変更後の内容が表示されますので、設定に問題が無い場合には、「設定する」ボタンをクリックしてください。



戻る 設定する

⑧ 以下のようなページが表示されますと、ネームサーバーの設定変更は完了となります。

● お申込み内容

ドメイン名	内容	状態
+++++じ+++++	ネームサーバー変更	完了

- お名前.com会員情報の連絡先メールアドレスは、常に有効なメールアドレスをご登録ください。
- お名前IDおよびパスワードは、サービスの追加や設定変更の際に必要な大切な情報です。大切に管理・保管をお願いいたします。

以上の手順にて、ドメイン名の向き先変更は完了となります。

ただし、変更後のネームサーバー情報がインターネット上に反映するまで、数日間はお時間が掛かりますので、お待ちいただきますよう、お願いいたします。

※17 ページの手順にて、ご利用中のパソコン内の「hosts ファイル」を変更されている場合、必ず元の設定に戻していただきますよう、お願いいたします。

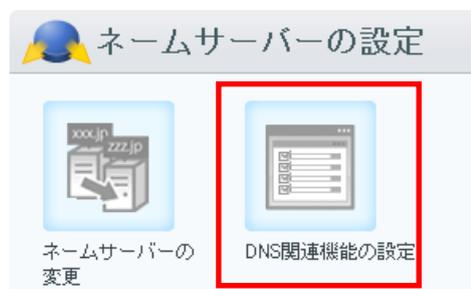
《注意事項》

ご利用中のお客様によっては、ネームサーバー情報をご変更いただきました際、エラーが発生する場合がございますが、その場合、ネームサーバー情報を切り替えていただく前に、【プライマリ DNS】としてご登録いただく「dns.ドメイン名」が、ネームサーバーであることを登録していただく必要がございます。

- ① 弊社「サーバーNavi」にログインしてください。
- ② 画面上部の「ドメイン Navi へ」をクリックしてください。
- ③ 画面上部の「ドメイン設定」をクリックしてください。



④ 「ネームサーバー設定」内に表示された「DNS 関連機能の設定」をクリックしてください。



⑤ 対象ドメイン名をご選択のうえ、「次へ進む」ボタンをクリックしてください。

● 内部ドメイン一覧

ドメイン名	DNS追加オプション
<input checked="" type="radio"/> test-hosting-vps12.info	未設定

次へ進む

⑥ 「ネームサーバー名としてのホストを設定する」という項目の、「設定する」ボタンをクリックしてください。

● DNSレコード設定を利用する
お名前.comのネームサーバーをご利用される場合、各レコード設定を行うことができます。
Webサーバーやメールサーバーの管理者から指示があり、AレコードやMXレコードの設定が必要な場合にご利用ください。

● セカンダリDNS(Slave)を利用する
Slave設定をされる場合は、こちらからお手続きください。

● ネームサーバー名としてのホストを設定する
お名前.comで登録したドメインをネームサーバーのホスト名としてご利用される場合こちらからお手続きください。
※ご自身でネームサーバーをご用意される場合

⑦ 「作成」をご選択のうえ、「入力画面へ進む」ボタンをクリックしてください。

ドメイン名	作成	更新	削除
test-hosting-vps12.info	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※日本語ドメインは、ホスト設定できません

戻る

⑧ 「ホスト名」の項目に「dns」とご入力いただき、その後、「IPv4」の項目に新サーバー環境側のIPアドレスをご入力ください。

● ホスト作成

ホスト名	<input type="text" value="dns"/> test-hosting-vps12.info
IPv4	<input type="text"/>
IPv4	<input type="text"/>
IPv4	<input type="text"/>

IP入力項目追加

※種別型JPNドメイン名を利用したホスト情報について、親ドメインのネームサーバーとして45日以上設定されていない場合は株式会社日本レジスドリス(JPRS)により情報が削除されますのでご注意ください。

戻る

